

郷土の誇り

長瀬八幡宮見守る会

令和7年8月25日NO. 23

発行者 事務長 太田栄一

暑さの中にも清々しさが

ニュースでは「猛暑・猛暑」の繰り返しで、たまに降雨があったと思えば「焼け石に水」程度、そんな中でも雑草はしっかり生い茂っています。

8月17日のボランティア清掃には、過去最大6名の初参加者を迎え実施しました。

この日は毎月の月次祭と、山王社と稲荷社の末社祭が執り行なわれるのに合わせ、主に拝殿奥と、稲荷社周辺の草取りと落ち葉の掃き掃除を行いました。

両場所とも運よく木陰になっていて、猛暑を避けて作業をすることが出来ました。

また、猛暑対策として、各自の判断で水分補給していただけるよう、8月から作業開始前にお茶をお渡しすることにしました。

みなさん一緒に気持ちのよい朝を過ごしませんか？

参加お待ちしております。



次回は 9月21日（日曜日）8：00～

神社所有物虫干し実施

幕や神具・祭具など

7月27日朝8時、すでに真夏の日差しが照り付けている中、氏子役員に集合してもらい、まずは全体清掃と雨どいの清掃を行い、9時ころから神社の虫干し作業を行いました。



社殿に飾る幕や寝具、祭具の一つ一つを風通しの良い境内に運び出し虫干しすることで、歴史ある品々が息を吹き返すような感覚を覚えました。

この日も暑さは厳しく、汗が絶え間なく流れましたが、氏子系の皆さんと協力して作業を進める事で、瞬く間に予定した品々を全て干し終わることが出来ました。

5時間ほど天日干した後の収納・片づけ作業は自然に笑顔と会話が漏れ手際もとても

良く「あっ」という間に終了することが出来ました。

虫干しは地道な作業でしたが、先人たちから受け継ぎ、後世へと繋ぐ役割を担っていることに責任を感じつつ、これからも神社の清浄と伝統を守り、努めてまいりたいと思います。

みなさんのご支援ご協力よろしくお願いいたします。

(氏子会会長吉田慎一)



風通しも良く見晴らし広がる

樹木の伐採・剪定実施

8月9日（土）真夏日の強い日差しの下、町役員および神社役員が集合し、落ち葉の片付けや日照問題



のあった新公民館西側にある樹木の伐採をおこないました。

長瀬の森公園内の低木を手の届く範囲で、ノコギリや剪定ばさみで整えることは有りましたが、今回は10mを越える高さがあり、クレーン車を準備しての伐採作業になりました。

専門業者が高所に上がる姿を見上げながら、私たちは切り落とされた木の枝を払い落としましたが、目の前に現れる木の枝は予想以上に大きく、二人係でやっと運べる物もありました。

土曜日はクリーンセンターが午前中のみの稼働の為、枝を2台の軽トラックに積み込み、クリーンセンターにピストン輸送すること7回！

汗が滝のように流れ、うだるような暑さの中、水分補給をこまめに摂り、声を掛け合いながら、みんなで協力し作業を行いました。

伐採後の周囲は驚くほど明るく風通しの良い環境が整いました。午後からは、公園北側にある民家や駐車場に掛かりそうな枝の剪定作業を行いました。

丸一日の大変な作業でしたが、協力して汗を流す中、作業仲間との一体感を感じられたこと、ケガや事故もなく無事に作業が負えられたことに安心し、貴重な夏のよい思い出となりました。

今後も引き続き環境整備をして皆さんに愛される神社づくりに励んでまいります。

（氏子会会長吉田慎一）



月次祭・末社祭開催

8月17日10時より、長瀬八幡宮の本殿にて月次祭が執り行われ、続いて山王社と稲荷社での末社祭を厳かな空気の中、日々の感謝と地域の安泰をお祈りいたしました。



山王社

次回の月次祭は9月21日（日）に行います。

同じ日に実施するボランティア清掃は8時より行いますので、氏子の方はもちろん、氏子でない方でも賛同いただける方は気楽な気持ちでご参加ください。

今後もこの活動を大切にし、長瀬八幡宮を参拝される方々を、清らかな気持ちで迎え入れられること、また神様に感謝しながらみんなで神域を守り続けたいと思いました。

（氏子会会長吉田慎一）



稲荷社